

## ごあいさつ

### 国際高等教育院長 宮川 恒



京都大学は、1897年の創立以来、学術の発展に多大な貢献をするとともに、各界に数多くの有為の人材を輩出してきました。多くの先輩が、日本で、そして世界で活躍されています。皆さんには、その後を追いかけて、学問研究をさらに発展させ、社会の様々な分野で重要な役割を担うことが期待されています。国際高等教育院は、様々な科目提供を通じて、皆さんが自身の夢を実現し、社会の期待に応えるための学びを強力にサポートします。

学問研究を深めるためには、しっかりとした基礎が確立されている必要があります。国際高等教育院では、外国語科目、多様な分野に亘る教養科目、自然科学分野の基礎科目を中心に科目を編成し、専門分野以外の学問に触れ、多様な問題や学問的方法論を理解するための体系をつくっています。一見、自分の専門と関係がないように見えても、専門分野の勉強に奥行きと幅をもたせ、皆さんの将来に多くの実りをもたらしてくれるはずです。

近年の国際化の進展は急速です。環境問題、食糧問題、人口問題等、もはや一国だけでは解決できない問題が多数現れています。国際化した社会において学問研究に従事し、あるいは、社会の様々な分野で活躍するためには、しっかりとした視点とともに、十分なコミュニケーション力を身につけることが必要です。この点を重視して、国際高等教育院では英語教育に力を入れており、1年次においては、少人数クラスや自習教材を活用したりリスニング学習の導入等により、英語4技能の強化を図っています。さらに外国人の教員が担当する英語による授業（E科目）を多数開講し、より高度な英語力の修得に加えて、異なる環境で培われた価値観や思考方法の理解を深められるよう配慮しています。この機会を存分に活用してください。

大学では、高校までとは異なり、何を学ぶかは自分で決めることとなります。卒業後の進路をすでに決めているのであれば、学ぶべきことは比較的容易に決まるかもしれませんが、しかし、たとえそうであっても、しばらくは貪欲に様々な学問に挑戦してください。まだ決めていない人はなおさらです。人間のこと、社会のこと、自然の摂理など、じっくりと考え、悩むことができるのは、学生時代だけです。そのような時間は、将来の学問研究や職業にも必ず役に立つことでしょう。国際高等教育院では、ILASセミナーという少人数クラスを多数展開し、皆さんが、直接、教員に問いかける機会を充実させていますし、統合科学という科目では、現代社会における学問の意味を教員とともに考える機会を提供しています。ぜひともこれらの機会も活用し、貪欲に、情熱をもって、授業を担当する教員と向かい合い、積極的に対話してください。

なお国際高等教育院では、研究科学生（院生）の皆さんに対しても、大学院共通科目群と大学院横断教育科目群の科目を提供しています。前者は、大学院での研究活動を行うにあたり必要となる基盤的知識や、社会へと飛び立つ際に必要となるための素養を学ぶ科目（社会適合分野）、現代社会において必要となる情報処理関連の科目（情報テクノサイエンス分野）、コミュニケーションスキルを高める科目（コミュニケーション分野）で構成されています。また、後者は、他研究科の院生の受講を想定して各研究科が開講する科目です。現代がかかえる問題はきわめて複雑で、その解決にはそれぞれの専門分野における深い学識とともに、広い領域の科学を俯瞰し総合的に判断する能力が求められます。そのような観点に立てば院生の皆さんには学部生以上に多様な問題に対する関心を持ち異分野の学問的方法を理解することが重要であることは言うまでもありません。それぞれの研究科単独では提供しづらい大学院共通科目群・横断教育科目群の科目を積極的に活用し、視野を広げ、自身の学識をより豊かにして欲しいと思います。

皆さんの研鑽を期待しています。